

# 一の宮っ子

第42号

発行  
一宮市児童育成連絡協議会  
事務局  
一宮市栄3丁目1番2号  
尾張一宮駅前ビル4階  
(一宮市社会福祉協議会内)  
TEL 0586-85-7024  
FAX 0586-85-7025

令和元年7月24日

ウェブサイト「一の宮っ子」<https://www.intell-inc.com/ichinomiya.jido-ren/>

子ども達は、異年齢の子ども達が、地域の行事への参加、仲間との遊びやスポーツを通じて社会性を身につけて成長していく大事な役割を担っています。



▲ 講演「自分の身体と向き合う方法」

子ども達は、異年齢の子ども達が、地域の行事への参加、仲間との遊びやスポーツを通じて社会性を身につけて成長していく大事な役割を担っています。

指導者の皆さん、子ども会活動の推進役を引き受けて頂きありがとうございます。平成から令和時代となり、また、子ども会事務局も社会福祉協議会内に移りました。時代の変化を読み取りながら、本年度も皆さんと一緒に「子ども会」活動を発展させ、子ども達の健やかな成長を願い、楽しく安全で、心豊かな活力ある活動を進めて行きたいと思えます。

「できたね。やれたね。」とほめられ、認めてもらうことで喜び笑顔になり自信を持ちます。時には失敗もあります。そこから学び一歩ずつ成長する姿を見るとき、子どもの持つ可能性と向上心に感心させられます。



「指導者の皆さんへ」

子ども会活動の発展

一宮市児童育成連絡協議会

会長 内田 清

## 一宮市子ども会指導者研修会



▲ 子どもの考えや意見を生かして魅力ある子ども会に

とコミュニケーションを取ることは大変な事と思えます。活動を前進させるために役員以外の親御さん方とも連絡を取り合い、理解を深め協力して取り組むなど子ども達の為に活動をお願いします。出来る時に交代してやる工夫も必要です。また、ジュニアリーダーの派遣活動も取り入れて

みて下さい。人を大切にする事、時間を大切にする事、物を大切にする事、安心して活動できる場を確保する事を活動の基本にして下さい。きつと地域の方も、力を貸して下さいと思えます。

指導者の皆さんには、「やって良かった！」と最後に言うって頂けると有難いです。

# 二〇一九年度 「宮市子ども会」 指導者研修会

北方町連区 宝西子ども会  
協力者 永田 詩子

この度、一宮市子ども会指導者研修会に参加させていただき、この研修会は指導者や協力者、育成者の方だけでなく、現在子育て中のご父兄の方々にも、ぜひ多数参加いただきたい会だと感じました。

それは、市内の他連区の前年度指導者の方々の体験発表も大変参考になりますし、子ども達の為に何をすべきかというヒントをいただける内容の講演を、毎年この研修会でしていたからです。

今年の講演は、室伏由佳さんが実際に幼少期からアスリートとしてオリンピックに出場されるまで、オリンピック元代表選手だったお父様との関わりの中で、心と身体で体験されたこと、及びスポーツ健康科学からの心理的効果などのお話でした。そのお話から、自分と関わる周囲の方々への感謝の気持ち及び、子どものモチベーションや能力を上げるためには何が重要かを再認識する事ができました。

これからの子ども会活動にあたり、それに関わる地域の方々への感謝を忘れず、子ども達と共に、笑顔で楽しい活

動にしていきたいと思っております。ありがとうございます。

三条連区 仁井井ばえ子ども会  
指導者 山下 景子

一宮市子ども会指導者研修会に参加させて頂きました。前年度の指導者お二人の体験発表は、子ども会活動において指導者が一人で全部背負わず、他の役員さんや町内会の方々、周りの助けを借りて指導者自身も楽しむ事が大切であるというお話でした。

「子どもを楽しませるためにまず自分が楽しむ」という言葉が印象的でした。そして子ども達がより楽しく参加出来るようにするためには、大人だけで決めるのではなく子ども



▲「思い込まない」「抱え込まない」「諦めない」

も達に見聞を聞き、それを取り入れながら、より良い活動に変えていく事が大切だと教えて頂きました。

室伏由佳氏の講演では、指導者が「思い込まない」「抱え込まない」「諦めない」ところが大切だと知りました。

私の指導者としての一年はまだ始まったばかりで、「子ども会をまとめる事が出来るのだろうか」と不安が大きかったのですが、今回の研修会に参加したことで「私も子ども達と一緒に楽しもう」と肩の力が抜けて、この先が楽しみになってきました。ありがとうございました。

## 体験発表

宮西連区 長島町ひふみ子ども会  
指導者 服部 愛子

指導者としてのこの一年は充実し、とても楽しい年になりました。

初めはどうなるのか不安でしたが、役員の方々と共に笑い支え合いながら子ども達を見守ってできました。

印象的な行事は、町民運動会でした。町内会と子ども会が一つとなり協力した行事だと思えました。高学年は低学年を支え、自分達で勝つ方法を考えて頑張りました。保護者の方にも子ども達と一緒に楽しんで頂けたと思います。



▲笑顔あふれる子ども会活動

町内の方々と保護者の方々、役員や子ども達にも充実した切な時を過ごせてもらえたと思います。

指導者として、家族や学校生活とはまた違う体験や経験、地域や人とのふれあいの大切さを少しでも感じて、たくさん笑って一緒に成長できればと思っておりました。今では、この貴重な体験をさせて頂き感謝しています。

子ども達の成長を間近で感じ、今まで知らなかった事を知ることができました。これから指導者になれる方々にはまず楽しんで下さい。皆さんと協力して子ども達とたくさん笑って下さい。笑顔あふれる子ども会活動を過ごして下さい。

木曾川町連区 八幡子ども会  
指導者 早瀬 亜希

2月2日に尾西生涯学習センターで、指導者代表研修会に参加させて頂き、各分科会にて「一年間を振り返り指導者として感じた事」をテーマ



▲充実した一年

に意見交換をしました。人数の減少による子ども会の活動の困難さ、予算不足・長期の練習を必要とする行事の負担など問題を抱えている方が多いことに驚きました。

私達の子ども会は150人と多く、予算の面でも町内会に助成金の増額をして頂いたりと、様々な面で協力を得て活動する事ができたので負担に感じる事はありませんでした。

限られた行事と予算の中で、子ども達が楽しみ喜んでくれる様にと考え、活動をしてきました。指導者を引き受けた当初は、わからない事ばかりで不安もありましたが、役員の皆さんも町内会の方も快く協力して下さいだったので、大きなトラブル・怪我也無かったです。

指導者を経験することにより子ども達と接する機会が増え、普段とは違う面をみて成長を感じる事もでき、私自身も充実した一年となりました。良い経験だったと思います。ありがとうございました。



# 児童福祉週間事業

浅井町連区 本郷子ども会

六年 尾関 望有

5月5日、子どもの日に児童福祉大会がありました。浅井中小・北小・南小の三校が集まりました。

私達本郷子ども会は、大なわとび、ストラックアウト、パクパク競争などのゲームと、学校対抗つな引きに参加しました。その中で、一番楽しかったのは大なわとびでした。

仲間と心一つにし、全力でジャンプしました。仲間がなわに引っかけたってみんなではげましたり、ジャンプのコツを教えたり、サポートしていました。その結果、予想以上にとぶことができました。優勝はのがしてしまいました。みんなの心が一つになつてとでもうれしかったです。競技の間には、他校の人とふれ合い、新しい友達をつ



▲ 大なわとびでジャンプ!

くることが出来ました。

中学校入学にむけて、新たな一歩をふみだすことが出来ました。小学校生活最後の児童福祉大会は、とても楽しく、良い思い出をつくることが出来ました。子どもの日は、最高の一日でした。



▲ みんなでピョンピョン

大和町連区 妙興寺西子ども会  
六年 川地 真悠子

5月19日、私は連区児童福祉大会に初めて参加しました。ミニ運動会みたいな感じだったけれど、学校の運動会ではやったことのない「ムカデ競争」と言う競技がありました。

私は地面にはいつくばつてムカデの様に進む競技かなうと思つていたら全然違いました。二本の長い板に四人が一列に並んで足が引っかかるので、その輪っかに足を

つこんでみんなで力を合わせて進む競技でした。思うように進む事が出来なくてたおれそうになつたけれど、ちゃんとゴール出来て良かったです。

あと、「障害物競争」もありました。あめ食い↓袋ジャンプ↓キヤタピラ↓うまい棒食いの順でした。キヤタピラは前が見えないので、進む方向がわからなくて難しかったです。途中で全然進まなくなつて「あれ?」と思つたら友達とぶつかつてました。でも楽しかったです。

他にも玉入れ、輪投げ、二人三脚の競争をしました。私のチームの順位は良くなかつたけれど、とても楽しかったです。

奥町連区 瀬古子ども会  
六年 田村 優佳

私は、5月19日に開かれた、福祉大会のソフトベタンクに参加しました。

ソフトベタンクは、ビュツトという目標球にボールを投げ合つて、相手のボールより近づけることで得点を競うゲームです。私達はそれを3試合、3回やりました。

投げるボールは、意外と重くて、投げる時に力を入れすぎると、ボールがコートから出てしまいます。だけど力を入れないと、すぐ手前でとまってしまふので、ビュツトの近くに投げるのはとても難しかったです。

投げることができず、「どうしよう。」と不安な気持ちでしたが、何回も投げるうちに力加減がわかり、上手に投げることができて、だんだん楽しくなつていきました。そして最後の試合は、相手チームが強くて接戦でしたが、勝つことができました。

試合の結果は、3回とも勝ち、優勝することができました。小学校最後のソフトベタンクでよい思い出がつくれしました。



▲ ねらいすまして

## 救急法・KYT研修会

神山連区

安全部長 真野 純子

4月3日「KYT講習」を受けました。(K・危険 Y・予知 T・トレーニング) 子ども達の行動はいつも危険と隣合わせ。子ども会活動中に事故が起こってしまう可

能性はたくさんあります。自分自身の安全は自分で確保する能力を身に付けるために、この講習は大切なものだと思います。

今回は各グループ5名程度と少人数だったので、全員が積極的に話し合いに参加出来ました。ところが、私達の連区は大きいために、一グループの人数が多くなつてしまいました。今回教えていただいた付箋紙を使って全員参加の話し合いが出来ました。配られた付箋に全員が危険などところを書いて、それを貼り付けていくやり方は良い考えだと思いました。

自らの安全確保のためには潜在的な危険をあらゆる角度から見付け出し、それを回避するには事前はどう考え行動したら良いのか、お互いの意見を聴きその能力を高めていって欲しいと思います。



▲ 危険なところを見つけよう



# 新指導者 年少リーダー

# ゲーム研修会

宮西連区

副指導部長 奥田 純子

新指導者・年少リーダーゲーム研修会に参加しました。朝からたくさんの子どもたちと指導者の方が来場され、元気な挨拶でスタートしました。

講師の方のゲームの紹介が始まると初めは緊張していたのか静かな雰囲気でしたが、ゲームが進むにつれ、動きが大きくなり笑い声もたくさん出始めて和みムードになっていきました。

ジュニアリーダーの子の活躍もあり、予定のゲームの他に「伝言ゲーム」をしました。一番前の子がジェスチャーで



▲ 思いがけない答えにびっくり!!

伝えていきます。教えてもらった通りに次の人に回したつもりでも最後の人のを見ると「あれ？」他のチームのを見ても「私と違う」と不安になりました。最後は全く想像していなかった答えに周りの方と一緒にびっくり!!と苦笑いでしたがとても楽しい時間でした。

今回紹介されたゲームのほとんどが道具を使わずいつでもどこでもできるものなので今後の機会に活かしていきたいと思えました。

大和町連区 氏永子ども会

指導者 金子 久美子

3月9日、新指導者・年少リーダーゲーム研修会に参加しました。たくさんさんのゲームを教えていただき、子ども達と一緒にゲームを行いました。最初は知らない人達の中で緊張や恥ずかしさもありましたが、時間がたつにつれ子どもだけでなく大人も笑ったり、声が出てきました。ゲームを通して初対面の人とも楽しく遊べるなんてすごいと思いました。グループを作った

り手をつないだりしましたが、照れくさかった気持ちもいつの間にか気にならなくなっていました。準備もいらず、こんなに色々なゲームができ、しかも十分楽しめるんだと勉強になりました。そういう楽しさを知ってもらいたいです。参加する前は不安がっていた子ども達も「とても楽しかった」「○○をもっとやりたかった」とゲームの話をしながら帰りました。こういうゲームをいくつか知っていれば、時間があき、何かできないかという時にも子ども達を楽しませることができると思いました。今後の活動にゲーム研修で教わったことを生かしていきたいです。

富士連区 赤見朝日子子ども会

六年 松本 奈々

3月9日に木曾川体育館で行われた新指導者・年少リーダーゲーム研修会に参加しました。

一宮市の子ども会から、350人ほど参加していました。初めて会う方々とどんな事を行うのか期待と不安で緊張していました。

ゲーム研修が始まると、自然と笑っていました。10種類ほどのゲームを教えていただき、中でも、私は「タイタコ」というゲームが一番印象に残りました。一人一組になって、じゃんけんをし、勝った人はタイとなり、負けた人はタコになります。そして、右手を合わせ、指導者の方が「タコ」と言うとタイの人がタコの手をたたきます。タコの人は、たたかれる前に左手で右手をおさえるゲームです。途中から自分がタイなのかタコなのか分からなくなっていくので夢中で楽しめました。その他のゲームもみんなで笑いながら最後までゲームをしていたので、あっという間に時間は過ぎていきました。

子ども会だったらもつと盛りがあって楽しめると思っています。私の子ども会でも教えていただいたゲームを行いたいと思います。



▲ 初対面の人でも楽しく

## 表彰

去る4月27日、子ども会指導者研修会の席上で、多年にわたり子ども会活動の推進にご尽力された、左記のみなさんが一宮市長より感謝状を贈呈されました。

永年在職者（10年以上）

- 大志連区児童育成協議会 木村 富雄 様
- 木曾川町連区児童育成協議会 八木 丈之 様
- 北方町連区児童育成協議会 戸松 夏子 様
- 奥町連区児童育成協議会 和田 清 様



▲ 功労者に感謝状を贈呈

## 編集後記

新年度を迎え、新しいメンバー6人で広報活動を始めました。楽しい「一宮っ子」をお届けできるように頑張っていきます。みなさんからのたくさんのお原稿をお待ちしています。一年間よろしくお祈りします。

- 広報委員
- 河辺 三代・大窪 文子
  - 奥田 純子・織田 智草
  - 藤井 恵・大塚 ますみ